



MAFF NAVI

秋田

東北農政局 秋田県拠点

「MAFF NAVI秋田」では、各種政府統計調査結果や行政データ等を活用して分析した秋田農業の実態に関する分析データをお届けします。

今回のテーマ

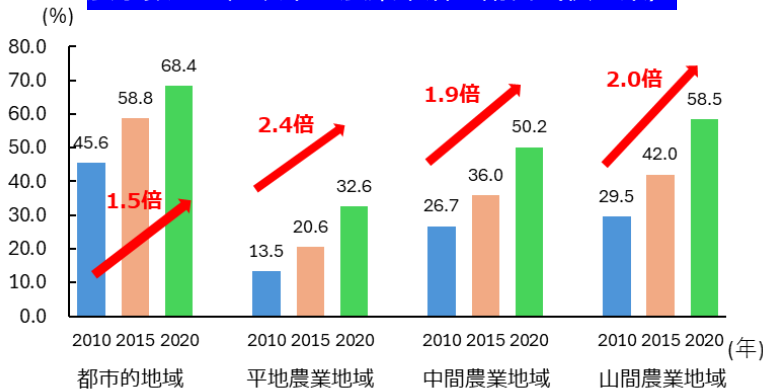
農山漁村では、高齢者の引退等による農業者の大幅な急減に直面し、食料安全保障を確保するには、農業の生産性向上や持続可能性の両立、農山漁村のコミュニティ維持が不可欠です。そこで、農林業センサスデータを基に農業集落活動の現状について分析しました。

I 農業集落の現状

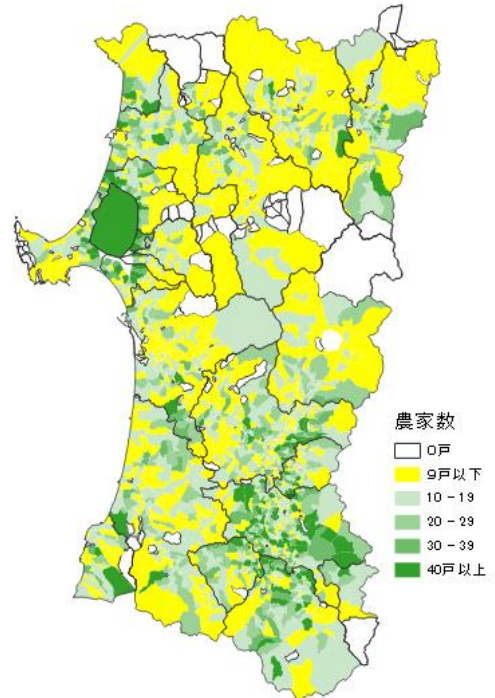
農業集落別階層別農家数（2020年）

農家数の減少に伴い、農業集落内の農家数が2010年から2020年にかけて9戸以下の農業集落（無人化集落を含む）の割合が都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域それぞれ1.5倍、2.4倍、1.9倍、2.0倍に増加しています。

農家数が9戸以下の農業集落の割合（秋田県）



資料：農林水産省「農林業センサス」

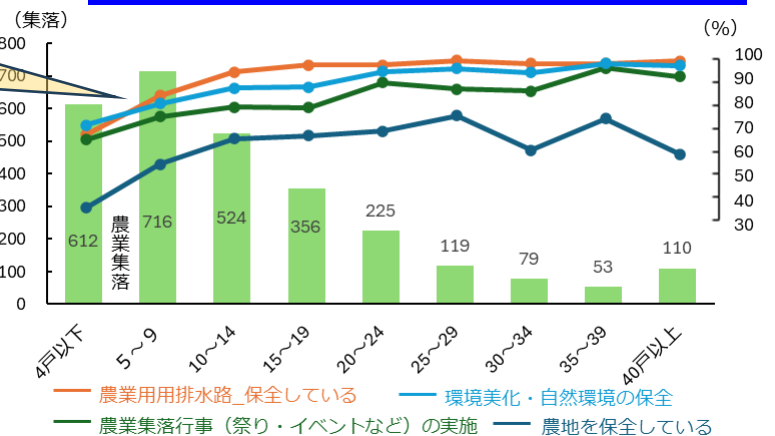


農家数9戸以下になると集落活動の実施率が低下

農業集落の農家数が9戸を下回ると集落活動の実施率が低下しています。

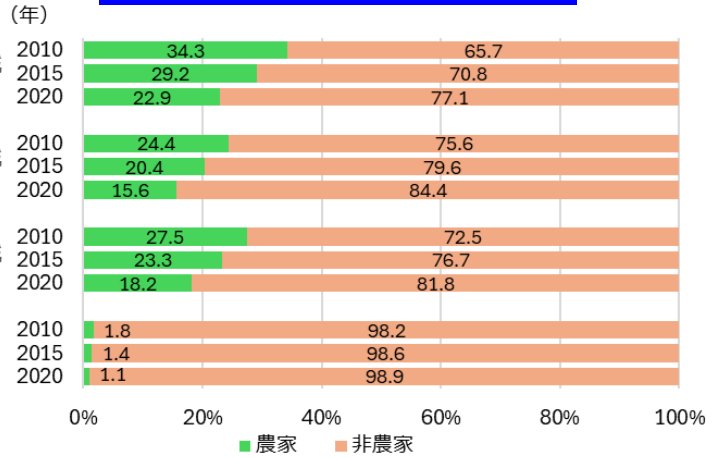
集落活動のうち、特に「農地の保全」、「農業用排水路の保全」の低下が大きくなっています。

集落活動の実施率と農業集落数（秋田県・2020年）



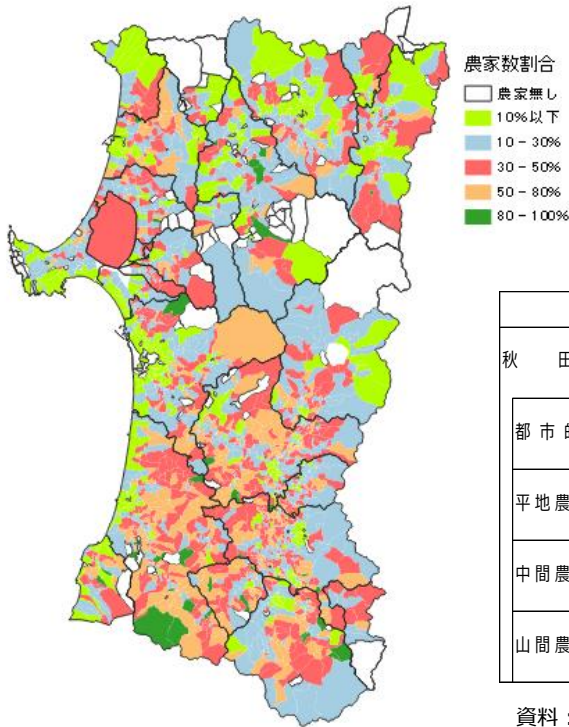
資料：農林水産省「農林業センサス」

農業地域類型別農家数割合（秋田県）



資料：農林水産省「農林業センサス」
地域の農業を見て・知って・活かすDB

農業集落別農家数割合（2020年）



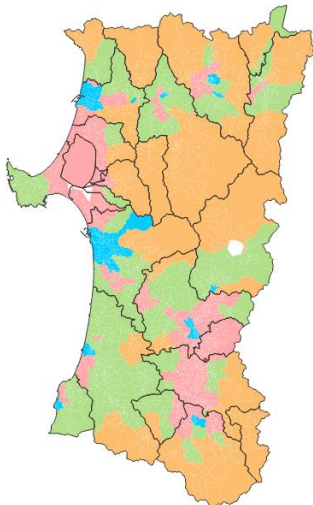
農家数階層別集落数（2020年）

単位：集落

	計	0戸	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40戸以上
秋 田 県	2,794	137	475	716	524	356	225	119	79	53	110
都市的地域	250	22	76	73	35	25	9	6	3	0	1
平地農業地域	959	16	92	205	176	159	95	58	47	35	76
中間農業地域	995	48	184	267	211	110	84	35	25	12	19
山間農業地域	590	51	123	171	102	62	37	20	4	6	14

資料：農林水産省「農林業センサス」

農業地域類型区分（2023年3月2日改定）

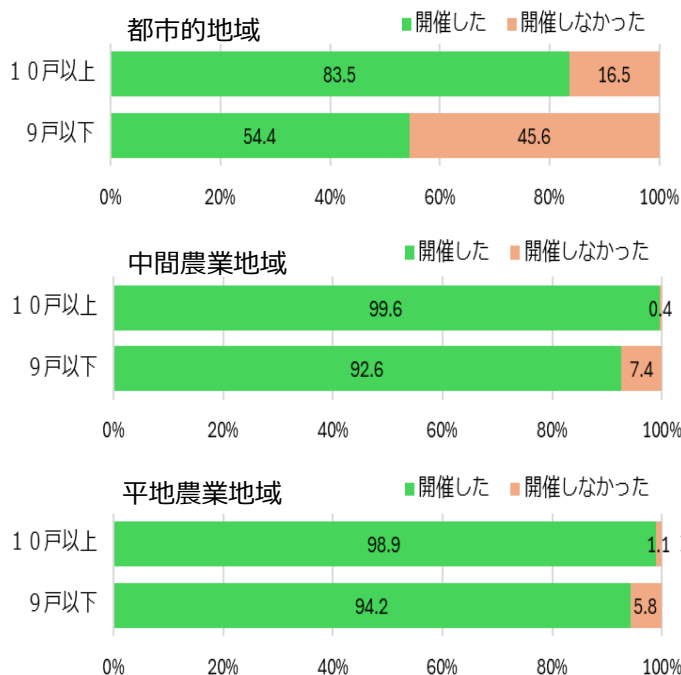


区 分	基 準 指 標（第1次分類）
都市的地域	可住地に占めるDID面積が5%以上で、人口密度500人以上又は、DID人口2万人以上の市区町村及び旧市区町村。 可住地に占める宅地等率が60%以上で、人口密度500人以上の市区町村及び旧市区町村。ただし、林野率80%以上のものは除く。
平地農業地域	耕地率20%以上かつ林野率50%未満の市区町村及び旧市区町村。ただし、傾斜20分の1の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が90%以上のものを除く。 耕地率20%以上かつ林野率50%以上で傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10%未満の市区町村及び旧市区町村。
中間農業地域	耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の市区町村及び旧市区町村。 耕地率が20%以上で、「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の市区町村及び旧市区町村。
山間農業地域	林野率80%以上かつ耕地率10%未満の市区町村及び旧市区町村。

注：DIDとは、人口集中地区をいう

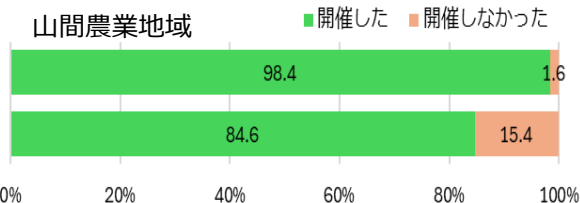
Ⅱ 集落活動の状況（2020年農林業センサス「農山村地域調査」より）

寄り合いの開催状況（秋田県）

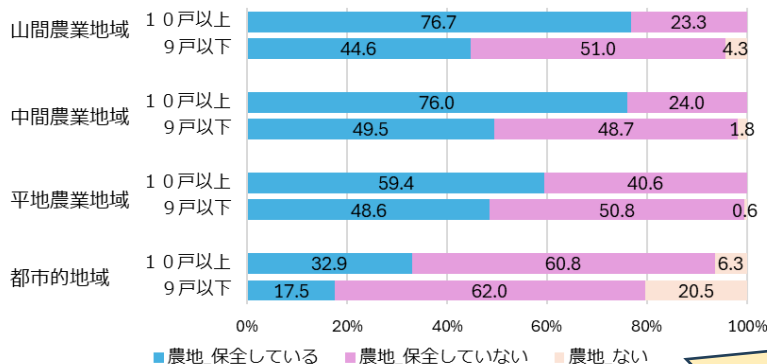


寄り合いは、都市的地域を除き、ほとんどの集落で開催されています。

都市的地域では、農家戸数9戸以下の集落の約半数の集落で開催されていない状況です。



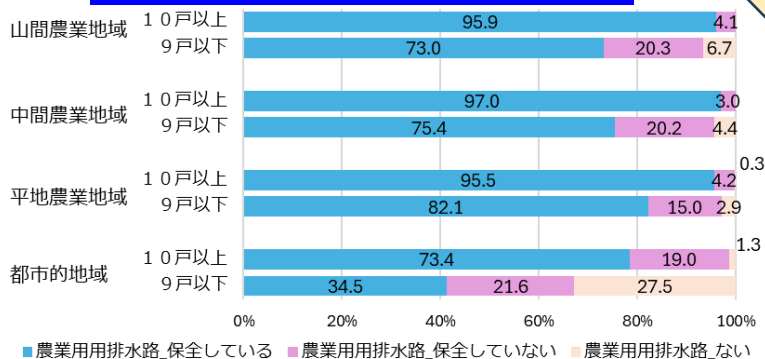
農地の保全活動（秋田県）



農地の保全活動は、農業用排水路保全活動に比べ活動の取組が少ない状況です。

特に都市的地域での活動が少ない状況です。

農業用排水路の保全活動（秋田県）

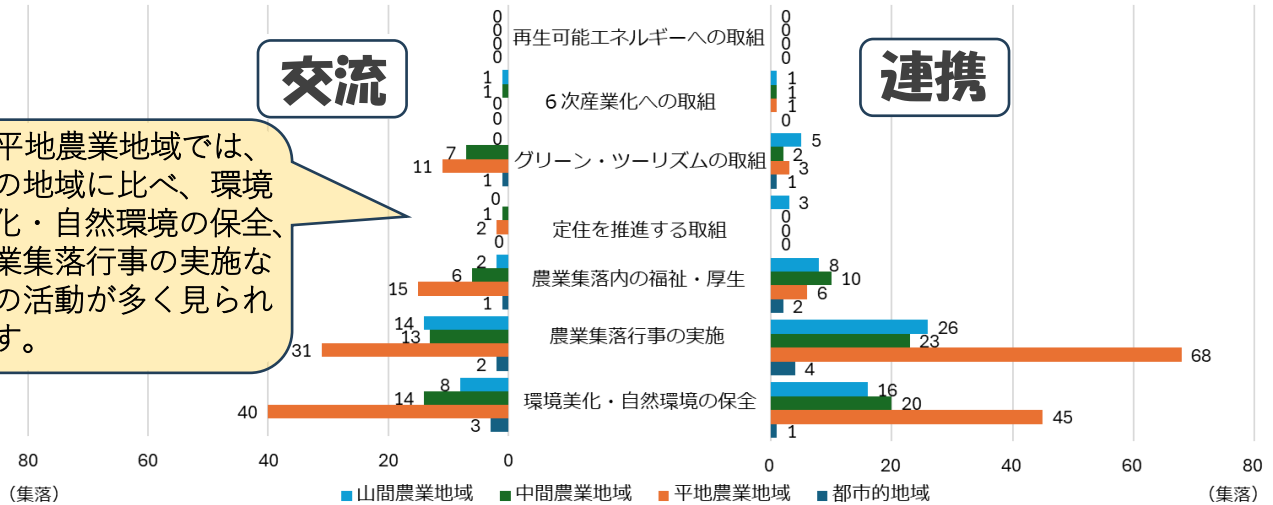


農業用排水路の保全活動は、多くの集落で活動されていますが、農家戸数9戸以下の集落では活動が少ない状況です。

都市住民との交流及びNPO、学校、企業との連携 (秋田県)

交流

平地農業地域では、他の地域に比べ、環境美化・自然環境の保全、農業集落行事の実施などの活動が多く見られます。

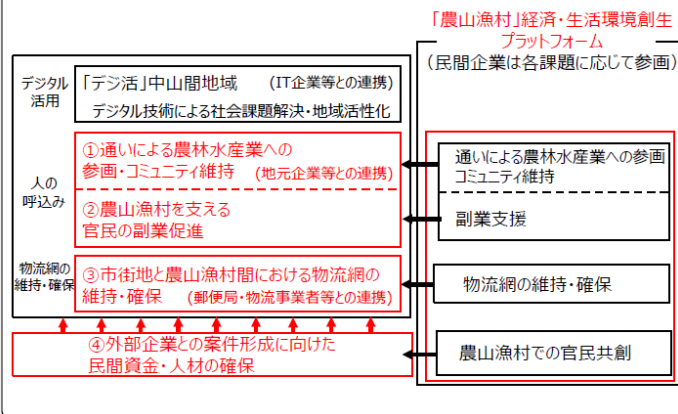


連携

農林水産省では、人口減の要因として自然減が社会減を上回っていることから、今後、農山漁村の関係人口の増加を目指し、民間企業、教育機関、金融機関等多くの関係者を巻き込み官民共創の仕組みも活用し、農山漁村における地方創生に取り組むため「『農山漁村』経済・生活環境創生プロジェクト」を創設しました。

- 人口減の要因として自然減が社会減を上回っていることから、今後、農山漁村の関係人口の増加を目指し、民間企業、教育機関、金融機関等多くの関係者を巻き込み官民共創の仕組みも活用し、農山漁村における地方創生に取り組むことが必要。
- このため、令和7年2月に、現場で案件形成を図る「『農山漁村』経済・生活環境創生プロジェクト」を創設し、関係府省庁、地方公共団体、郵便局、民間企業、教育機関、金融機関等が参画するプラットフォームを立ち上げ、地域と企業のマッチングや連携の在り方を議論したいと考えている。
- このプロジェクトと並行して、農村RMOや特定地域づくり事業協同組合等による地域課題の解決に向けた取組や、農山漁村が女性・若者に選ばれるための地域拠点の整備等についても検討し、成果については農林水産省の職員が率先して自治体に足を運び、施策立案等を助言するなど取組の普遍化を促進したいと考えている。

「農山漁村」経済・生活環境創生プロジェクト (2月にキックオフ)



秋田県にかほ市での農村RMOの取組事例

にかほ市の元地域おこし協力隊員が、地域行事や一次産業が体験できる宿としてゲストハウスを創業し、地域の方々と一体となって「農地を守り」「外貨を稼ぎ」「暮らしを残す」取組を実践。



農地の保全活動



地域交流活動
年間約500名が宿泊



週1回のマルシェ開催
地域の憩いの場

「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/impact.html>

出典: 「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム
設立趣旨・当面の活動内容の紹介

MAFF NAVI秋田では、各種統計データ等を活用し地域の農林水産業の発展を支援するため、見える化した分析データを発信していきます。

農林水産統計データ等活用支援やデータの照会等お気軽にご相談ください。

東北農政局秋田県拠点

秋田県秋田市山王7丁目1-5

018-862-5611